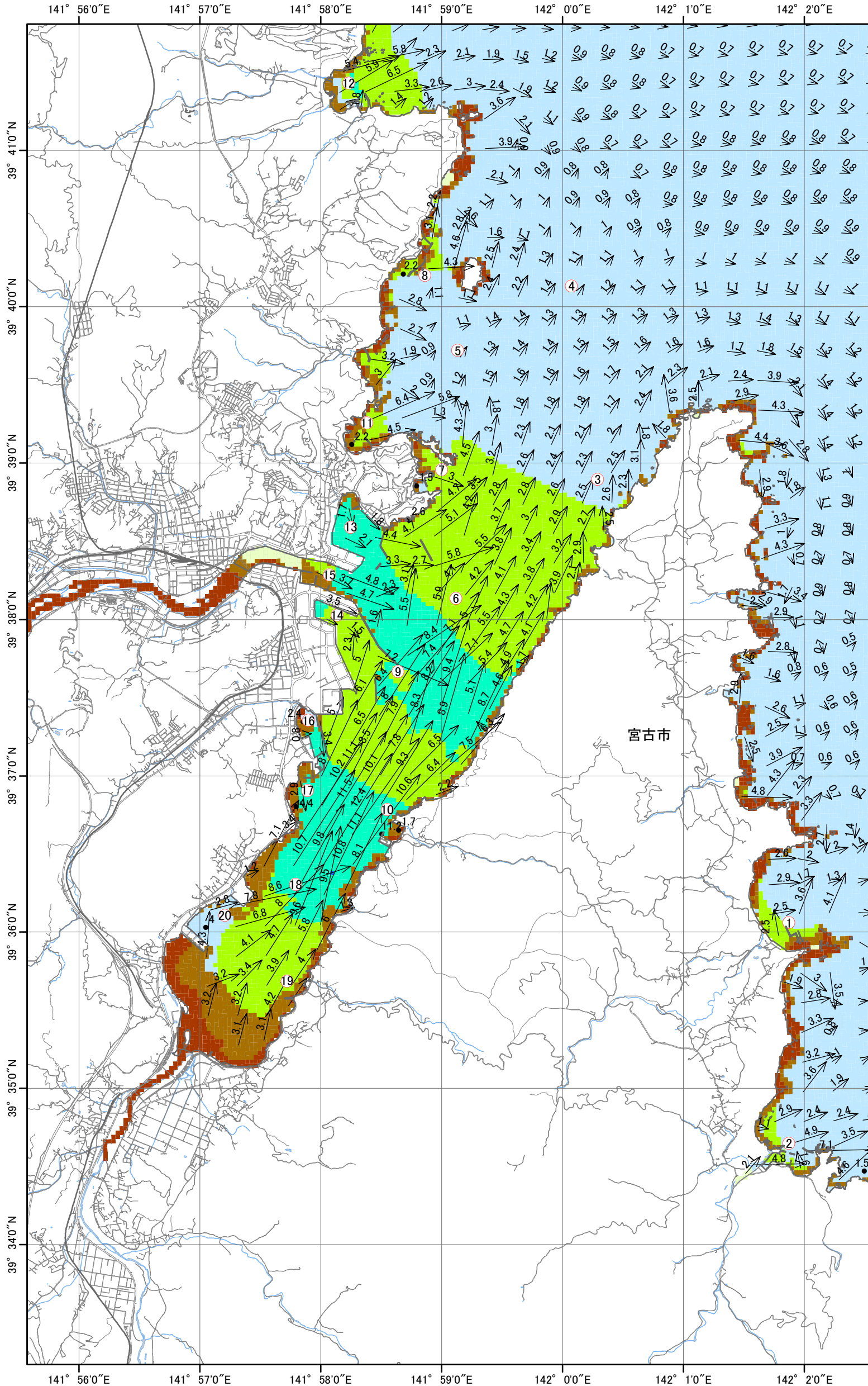


計算条件： 最低水面（零位）  
 隆起量： 平均 -0.08m(-0.09m ~ -0.07m)  
 Zo： 0.83m  
 備考： 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法  
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

最大水位低下

- 5~最大5.1m
- 3~5m
- 2~3m
- 0.5~2m
- 0.5未満
- 干出域
- 露出域
- No 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

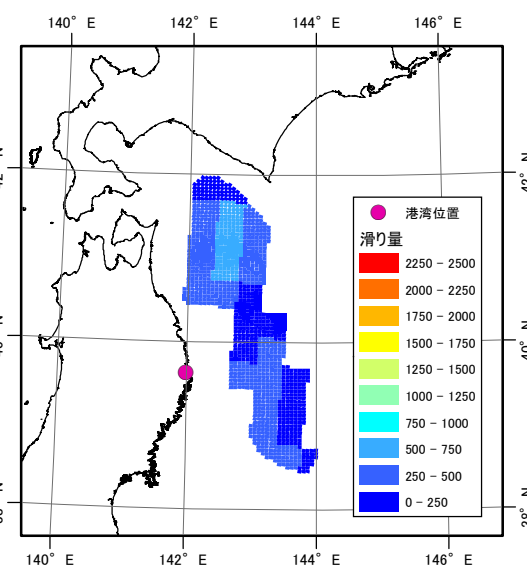
引潮時最大流 [knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

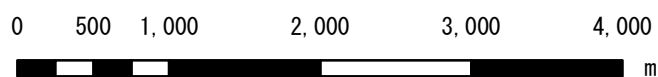
断層モデル



三陸沖北部地震

モーメントマグニチュード Mw 8.4

本断層モデルは、平成18年中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会」により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。  
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。  
 ・海上保安庁が保有する水深データ  
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び基礎地図情報(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)

作成機関：海上保安庁  
 防災情報図作成年月：平成30年4月(初版)  
 地形データ作成年月：平成28年3月(初版)